

(速報)

令和4年度
健康づくりに関する県民意識調査
報告書

令和4年1月

熊本県 健康福祉部 健康づくり推進課

目 次

I. 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査時期	1
3 調査対象	1
4 調査方法	1
5 回収結果	1
6 集計上の留意点	1
II. 調査結果	2
あなた自身のことについて	2
運動・身体活動について	6
食生活について	10
ストレス・休養について	14
喫煙について	22
飲酒について	33
歯・口腔について	38
健診・がん検診について	49
糖尿病について	71
新型コロナウイルス感染症の影響について	81

I. 調査概要

1 調査の目的

県民の健康状態を把握し、必要な施策につなげるとともに、第5次くまもと21ヘルスプラン（熊本県健康増進計画）、第5次歯科保健医療計画、第4次熊本県健康食生活・食育推進計画の基礎資料とする。

2 調査時期

令和4年11月に実施

3 調査対象

熊本県全域において、県内居住の20歳以上の男女4,500人。
(住民基本台帳から無作為抽出。)

4 調査方法

郵送による配布・回収及びインターネット上での回収

5 回収結果

配布件数	回収件数	回収率
4,500件	2,108件	46.9%

6 集計上の留意点

- (1) グラフ中の「n=」は、母数となるサンプル数(回答者数)を示している。
- (2) 集計結果は百分率で算出し、四捨五入の関係上、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の場合は、回答者実数より多くなっている場合がある。
- (4) 回答者が無い場合の設問では一部集計表・グラフを省いている。

健診・がん検診について

問 24 あなたは過去1年間に健康診断や人間ドックを受けましたか。(1)～(3)それぞれについて1つ選んで○をつけてください。

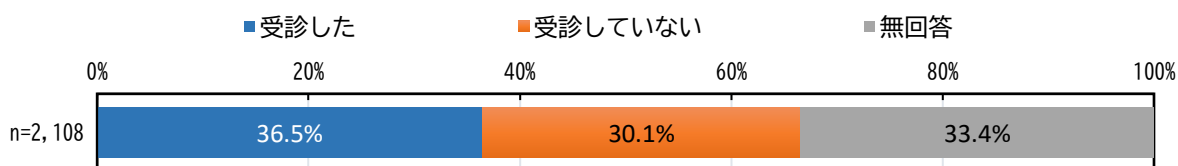
(1) 職場の健康診断 (2) 市町村の健康診断 (3) 人間ドック

職場の健康診断の受診状況について、「受診した」36.5%、「受診していない」30.1%となっている。

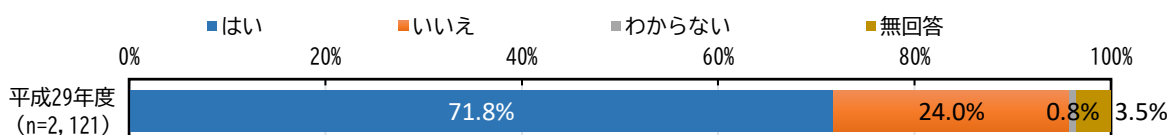
性別で見ると、男性では「受診した」と回答した割合が女性と比べて5.3ポイント高くなっている。

性、年代別で見ると、男女ともに50歳代以下の全ての年代で「受診した」が半数以上を占めている。

【(1) 職場の健康診断受診状況】

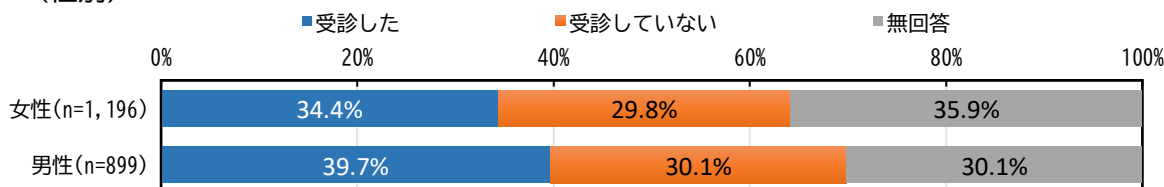


(経年比較) ※平成29年度「あなたは、過去1年間に、職場や市町村等で行われる健康診断や人間ドックを受けましたか」

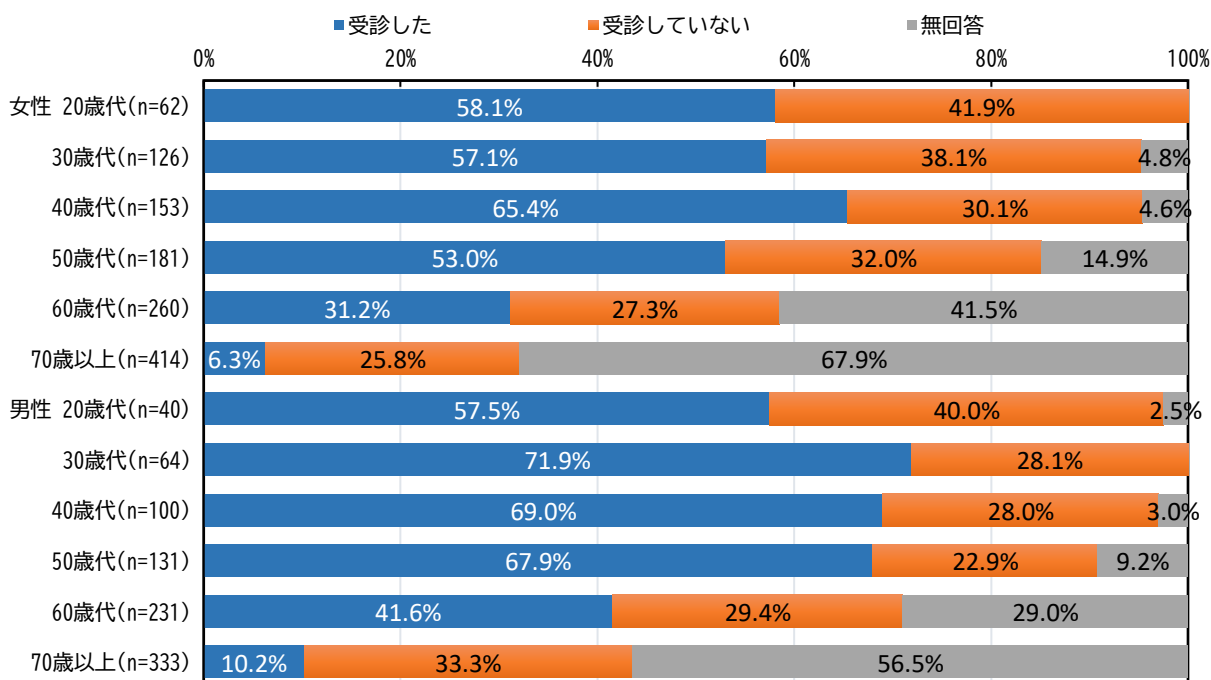


※設問の内容が異なるため、比較は行わず参考資料として掲載した。

(性別)



(性・年代別)



問 24 あなたは過去1年間に健康診断や人間ドックを受けましたか。(1)～(3)それぞれについて1つ選んで○をつけてください。

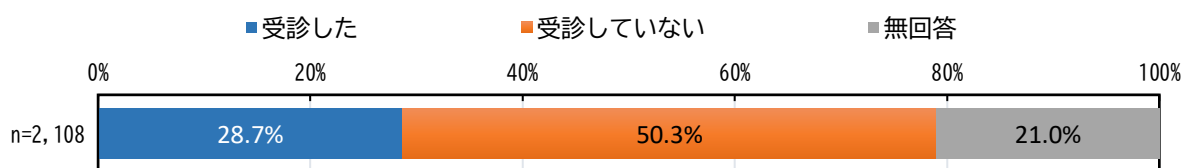
(1) 職場の健康診断 (2) 市町村の健康診断 (3) 人間ドック

市町村の健康診断の受診状況について、「受診した」28.7%、「受診していない」50.3%となっている。

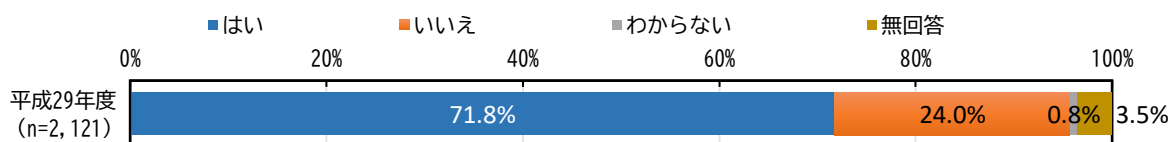
性別でみると、女性では「受診した」と回答した割合が男性と比べて5.3ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、60歳以上の女性と70歳以上男性では「受診した」と回答した割合が約4割となっている。

【(2) 市町村の健康診断受診状況】

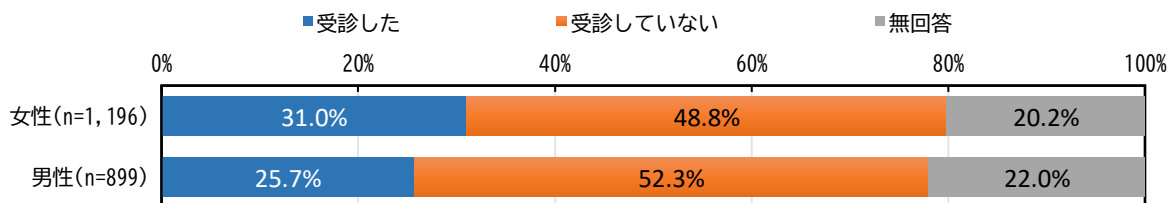


(経年比較) ※平成29年度「あなたは、過去1年間に、職場や市町村等で行われる健康診断や人間ドックを受けたことがありますか」

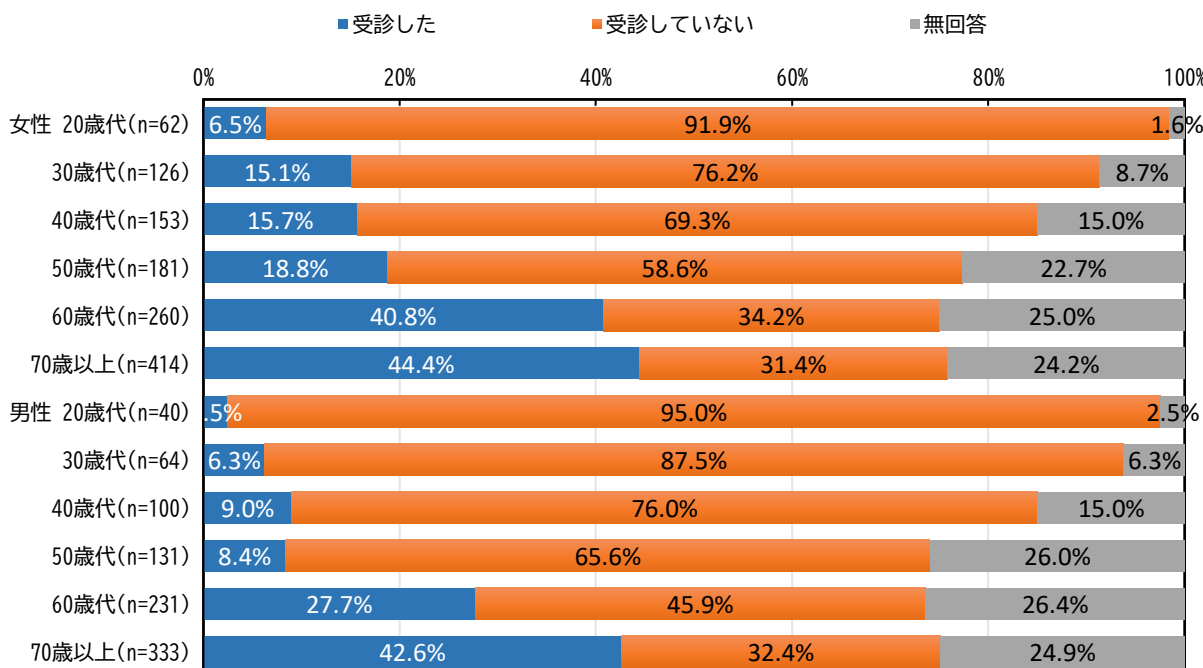


※設問の内容が異なるため、比較は行わず参考資料として掲載した。

(性別)



(性・年代別)



問 24 あなたは過去1年間に健康診断や人間ドックを受けましたか。(1)～(3)それぞれについて1つ選んで○をつけてください。

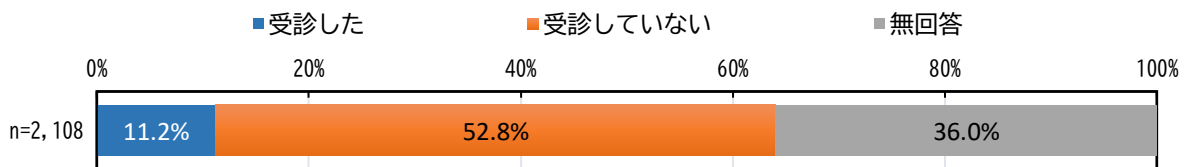
(1) 職場の健康診断 (2) 市町村の健康診断 (3) 人間ドック

人間ドックの受診状況について、「受診した」11.2%、「受診していない」52.8%となっている。

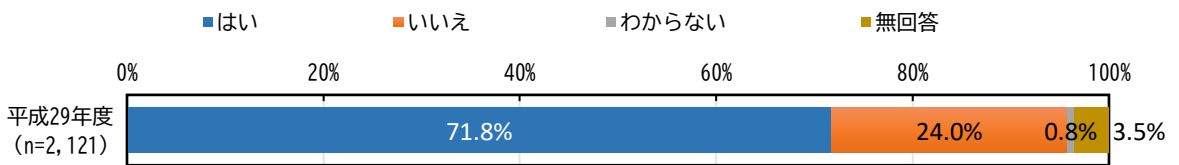
性別でみると、「受診した」と回答した割合は男性が女性より3.5ポイント高くなっている。

性、年代別でみると、50歳代男性では「受診した」と回答した割合が25.2%と最も高く、その他の性・年代では2割以下となっている。また、30歳代以下の男女ともに「受診していない」と回答した割合は約9割以上を占めている。

【(3) 人間ドック受診状況】

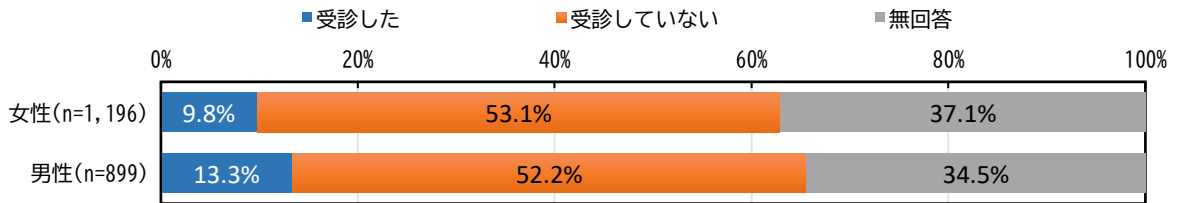


(経年比較) ※平成29年度「あなたは、過去1年間に、職場や市町村等で行われる健康診断や人間ドックを受けたことがありますか」

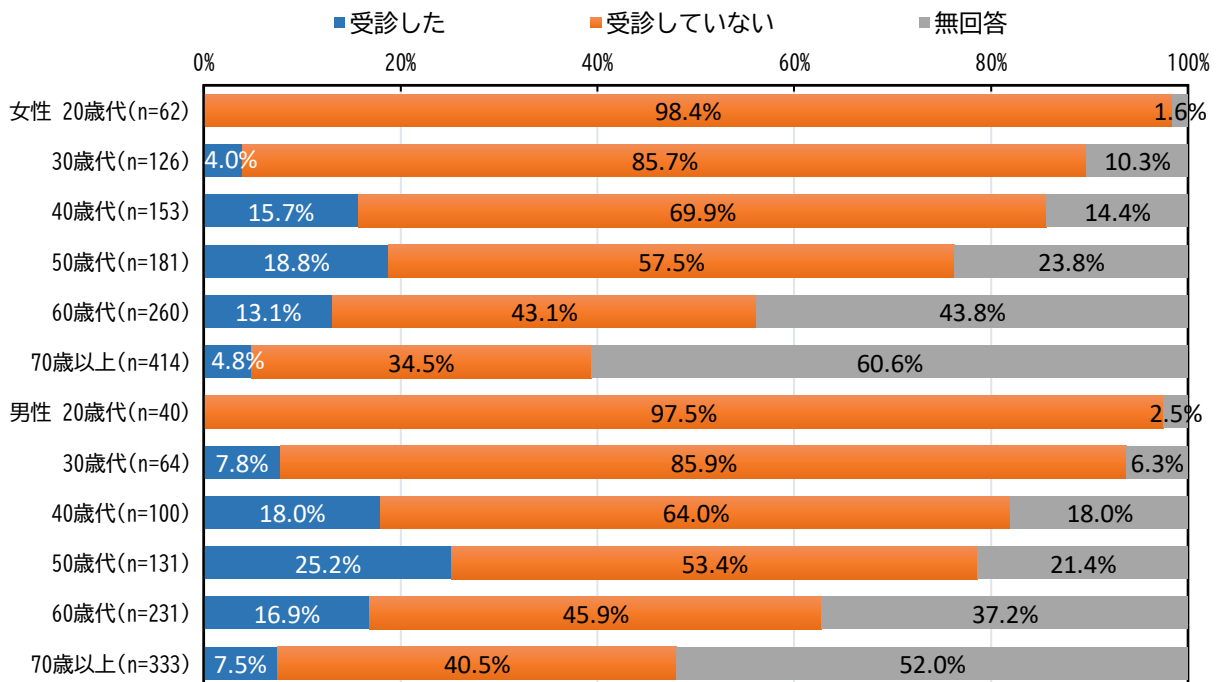


※設問の内容が異なるため、比較は行わず参考資料として掲載した。

(性別)



(性・年代別)



【問 24 で (1)、(2)、(3) 全て「2. 受診していない」に○をつけた方のみお答えください】

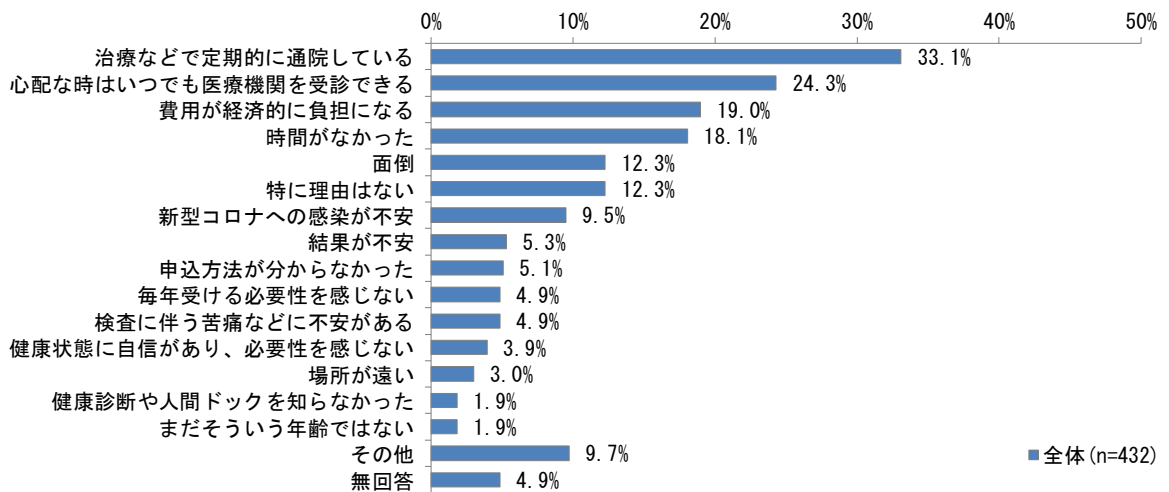
問 24-2 健康診断や人間ドックを受けなかった理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

健康診断や人間ドックを受けなかった理由について、「治療などで定期的に通院している」33.1%が最も高く、次いで「心配な時はいつでも医療機関を受診できる」24.3%、「費用が経済的に負担になる」19.0%となっている。

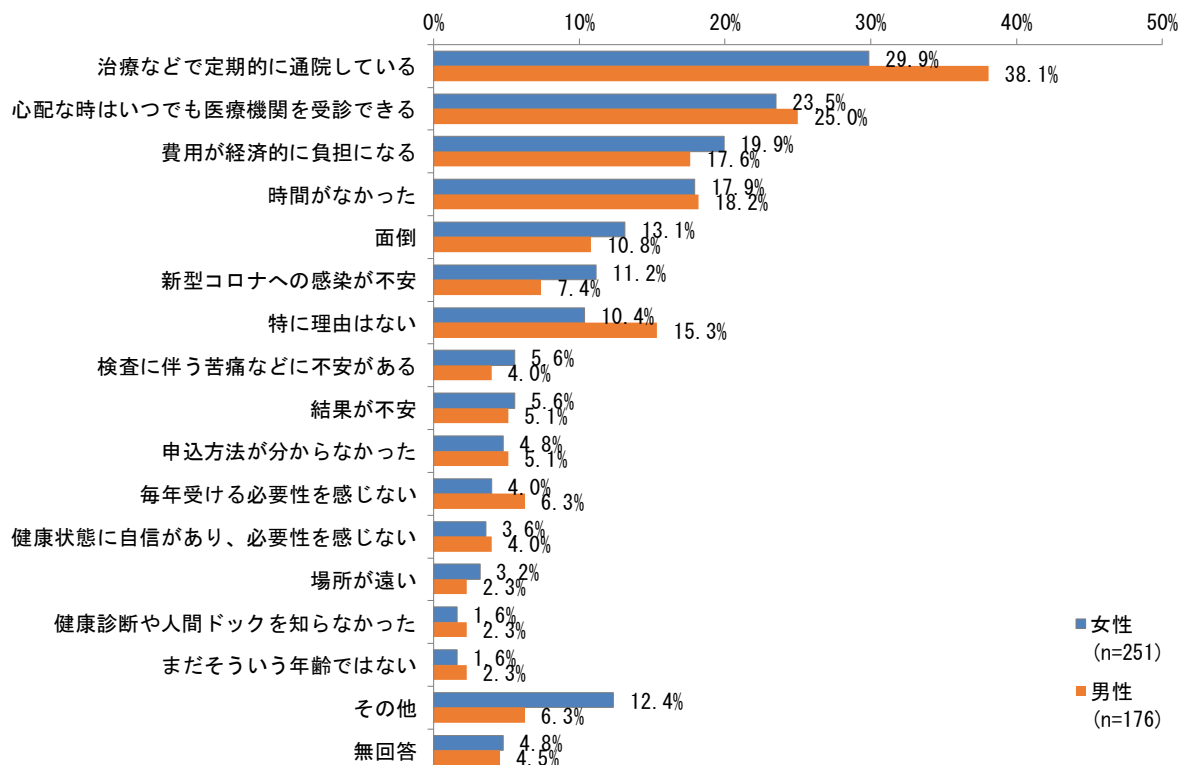
性別でみると、男性では「治療などで定期的に通院している」と回答した割合が女性と比べて8.2ポイント高くなっている。性・年代別でみると、30歳代の男女ともに「費用が経済的に負担になる」と回答した割合が約4割となっている。また、50歳代男性では「時間がなかった」と回答した割合が半数以上を占め、他の性・年代と比べて高くなっている。

【健康診断や人間ドックを受けなかった理由】

(全体)



(性別)



問 25 あなたが過去1年間（胃がん・子宮頸がん・乳がんは過去2年間）に受けたがん検診はどれですか。それぞれの健診について1つ選んで○をつけてください。

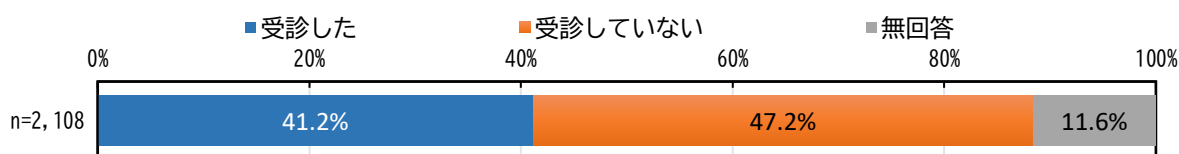
- (1) 胃がん検診 (2) 肺がん検診 (3) 大腸がん検診
 (4) 子宮頸がん検診※女性のみ (5) 乳がん検診※女性のみ

胃がん検診の受診状況について、「受診した」41.2%、「受診していない」47.2%となっている。

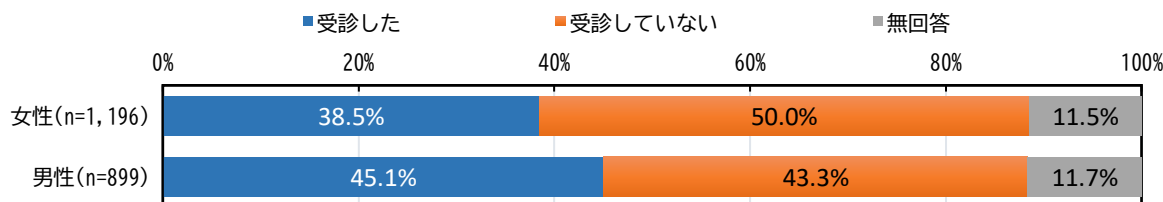
性別でみると、男性では「受診した」と回答した割合が女性と比べて6.6ポイント高く、女性では半数が「受診していない」と回答している。

性、年代別でみると、20歳代の男女ともに「受診していない」と回答した割合が9割を占めている。一方、30歳代から60歳代までの男女では、年代が上がるにつれて「受診した」と回答した割合が高くなっている。

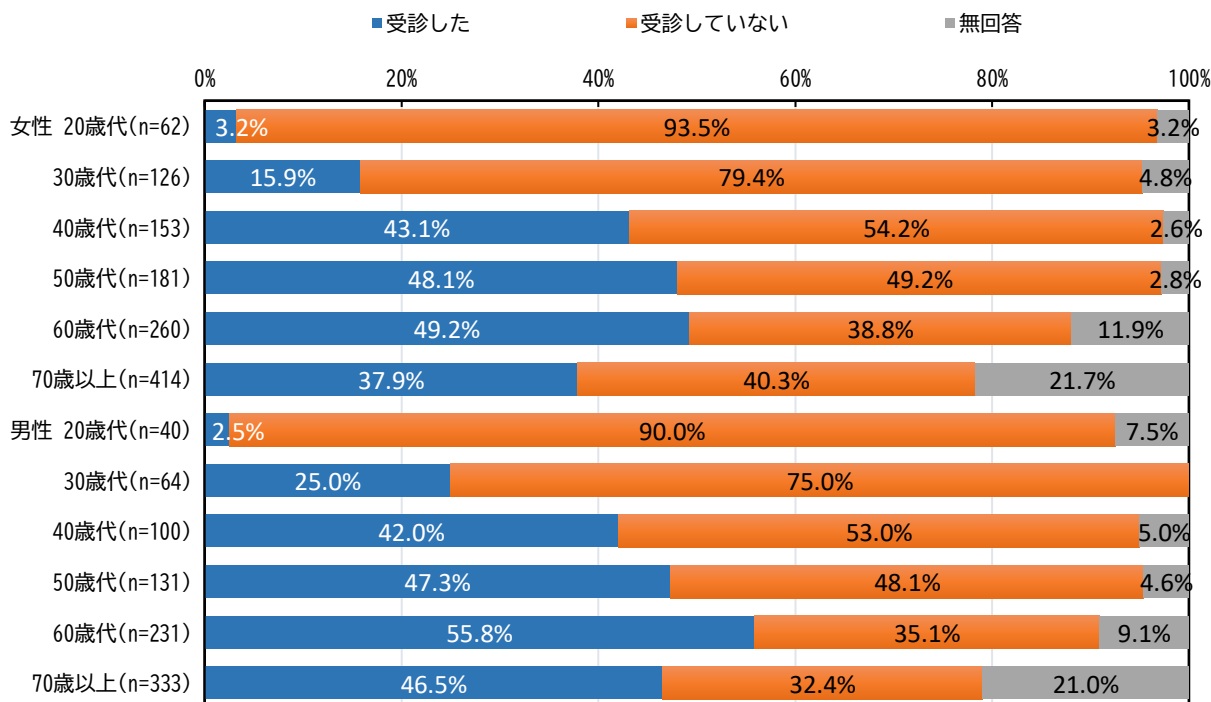
【(1) 胃がん検診】



(性別)



(性・年代別)



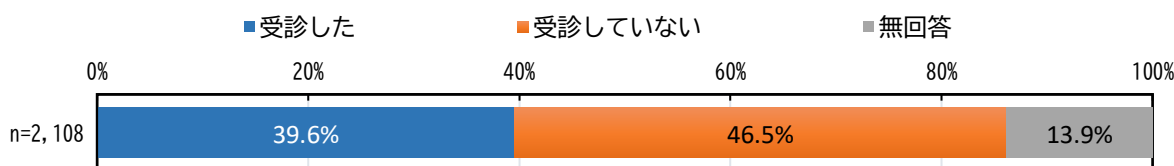
問 25 あなたが過去1年間（胃がん・子宮頸がん・乳がんは過去2年間）に受けたがん検診はどれですか。それぞれの健診について1つ選んで○をつけてください。
 (1) 胃がん検診 (2) 肺がん検診 (3) 大腸がん検診
 (4) 子宮頸がん検診※女性のみ (5) 乳がん検診※女性のみ

肺がん検診の受診状況について、「受診した」39.6%、「受診していない」46.5%となっている。

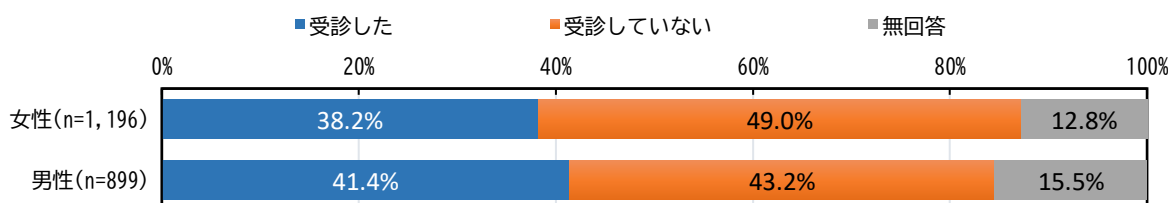
性別で見ると、女性では「受診していない」と回答した割合が約半数となっている。

性、年代別で見ると、20歳代から30歳代までの男女ともに「受診していない」と回答した割合は約8割以上を占めている。一方、40歳代以上の男女では「受診した」と回答した割合は約4割以上となっている。

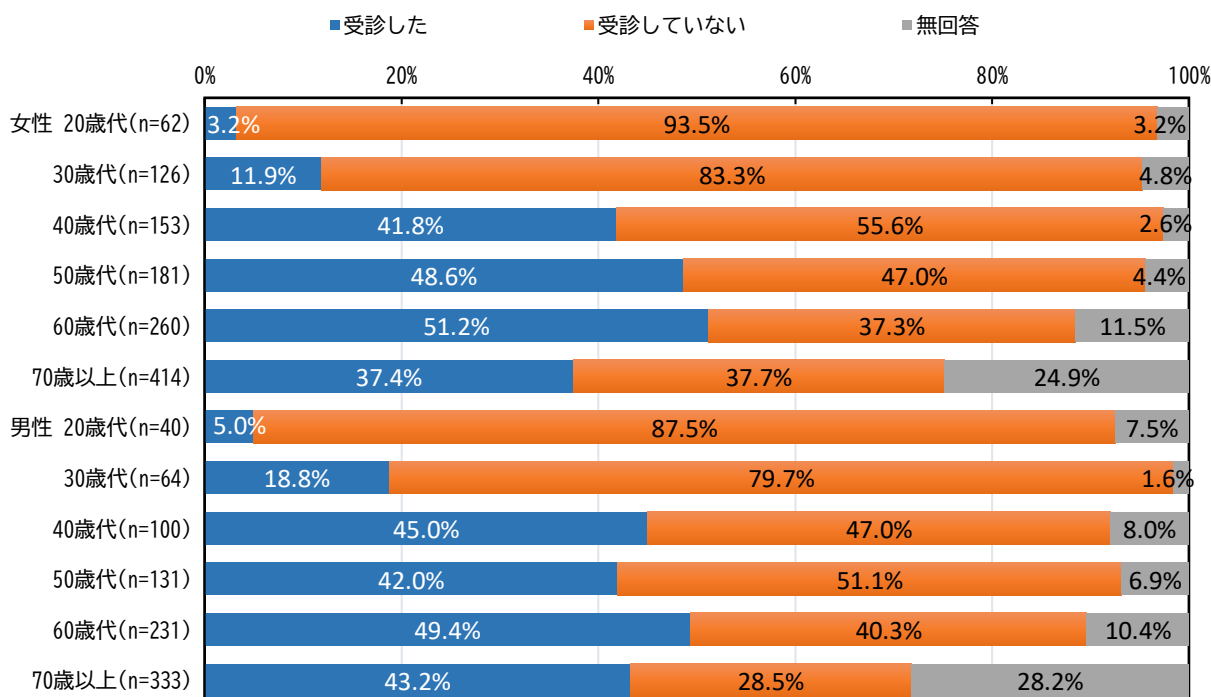
【(2) 肺がん検診】



(性別)



(性・年代別)



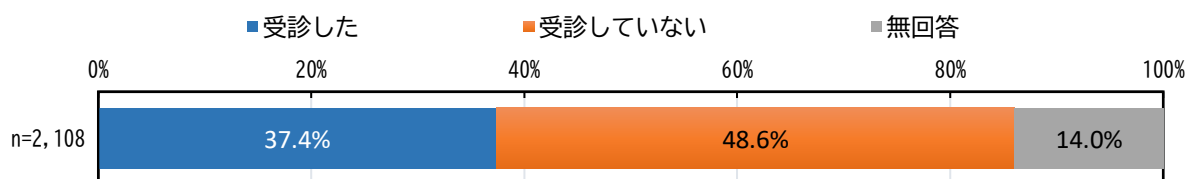
問 25 あなたが過去1年間（胃がん・子宮頸がん・乳がんは過去2年間）に受けたがん検診はどれですか。それぞれの健診について1つ選んで○をつけてください。
 (1) 胃がん検診 (2) 肺がん検診 (3) 大腸がん検診
 (4) 子宮頸がん検診※女性のみ (5) 乳がん検診※女性のみ

大腸がん検診の受診状況について、「受診した」37.4%、「受診していない」48.6%となっている。

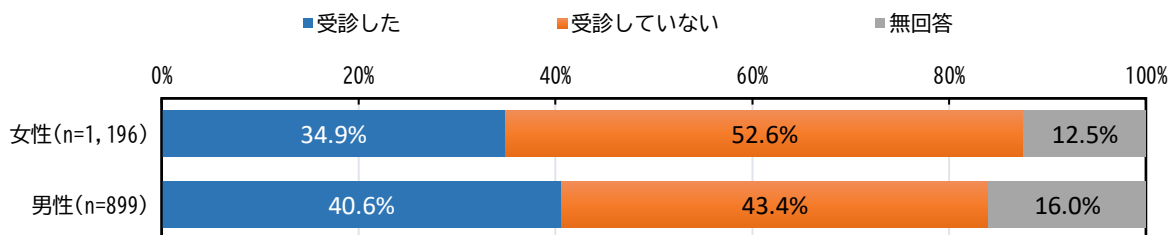
性別で見ると、男性では「受診した」と回答した割合が女性と比べて5.7ポイント高く、女性では「受診していない」と回答した割合が52.6%と半数以上となっている。

性、年代別で見ると、20歳代から30歳代までの男女ともに「受診していない」と回答した割合が7割以上となっている。一方、50歳代、60歳代の女性と60歳代の男性では「受診した」と回答した割合が約半数を占めている。

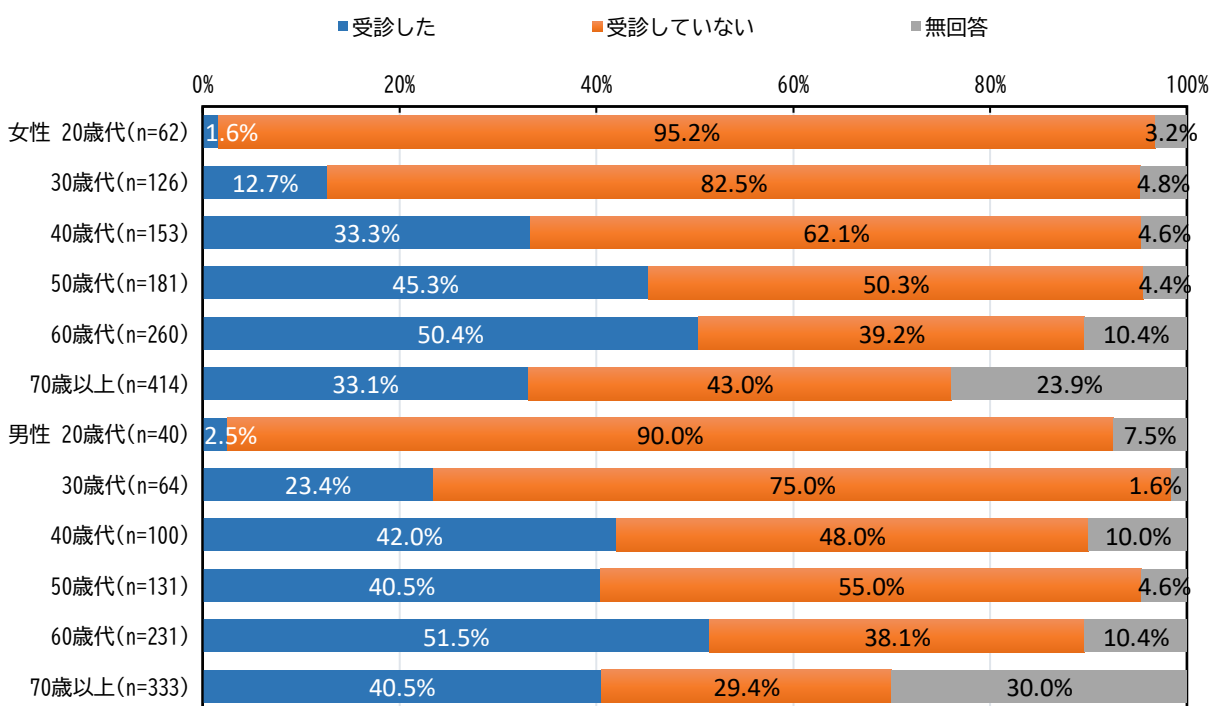
【(3) 大腸がん検診】



(性別)



(性・年代別)



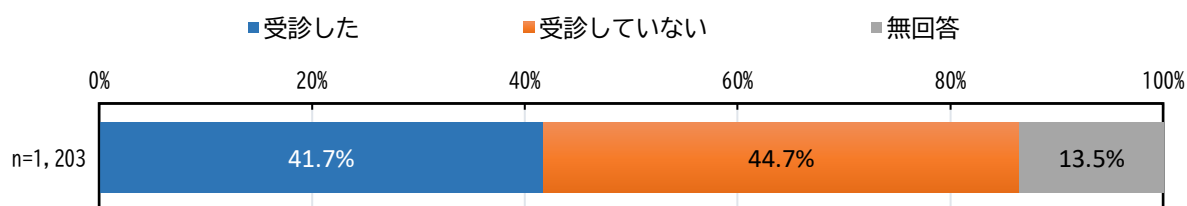
【女性のみお答えください】

問 25 あなたが過去1年間（胃がん・子宮頸がん・乳がんは過去2年間に受けたがん検診はどれですか。それぞれの健診について1つ選んで○をつけてください。
 (1) 胃がん検診 (2) 肺がん検診 (3) 大腸がん検診
 (4) 子宮頸がん検診※女性のみ (5) 乳がん検診※女性のみ

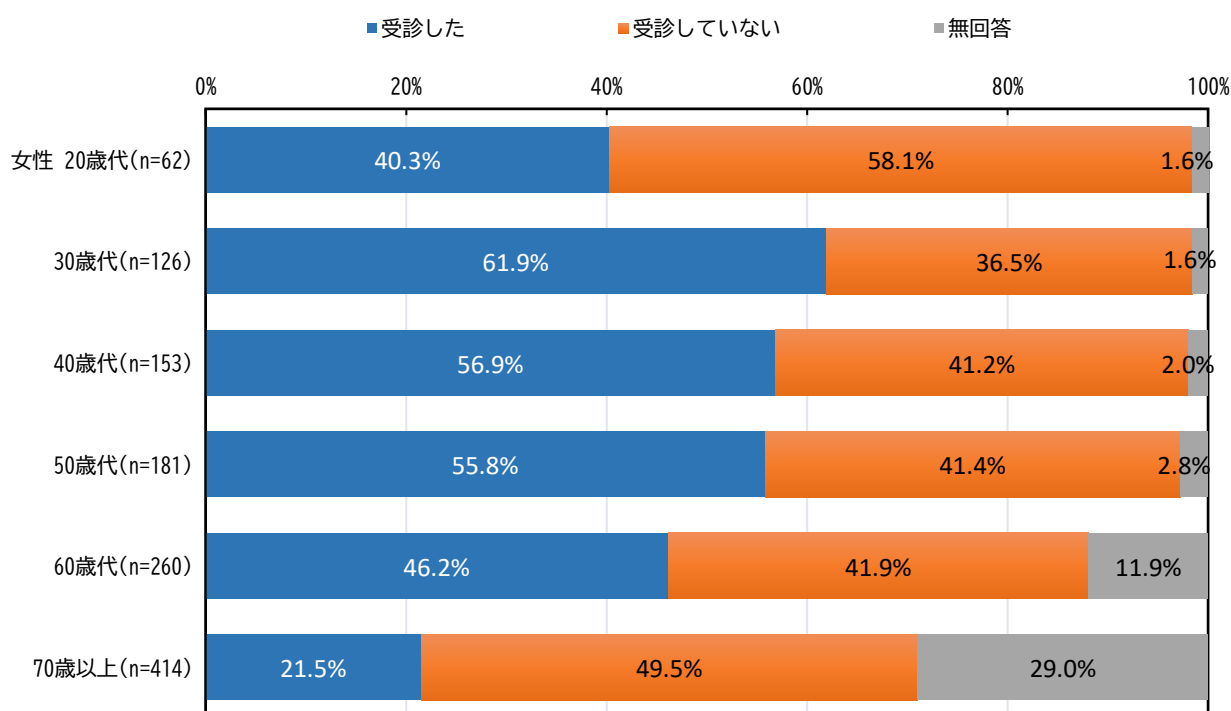
子宮頸がん検診（女性のみ）の受診状況について、「受診した」41.7%、「受診していない」44.7%となっている。

年代別でみると、30歳代では「受診した」と回答した割合6割以上となっており、それ以上の年代では、年代が上がるにつれて低くなっている。

【(4) 子宮頸がん検診】



(年代別)



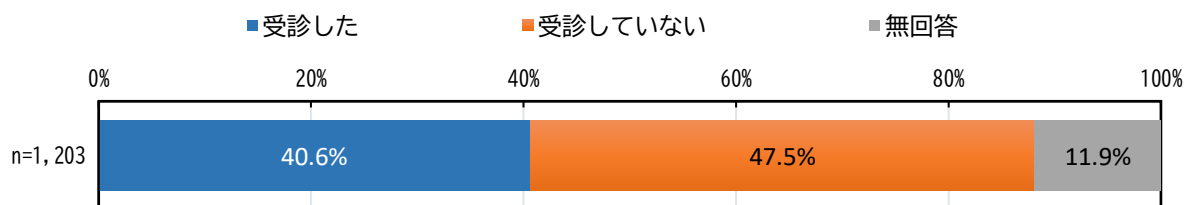
【女性のみお答えください】

問 25 あなたが過去1年間（胃がん・子宮頸がん・乳がんは過去2年間）に受けたがん検診はどれですか。それぞれの健診について1つ選んで○をつけてください。
 (1) 胃がん検診 (2) 肺がん検診 (3) 大腸がん検診
 (4) 子宮頸がん検診※女性のみ (5) 乳がん検診※女性のみ

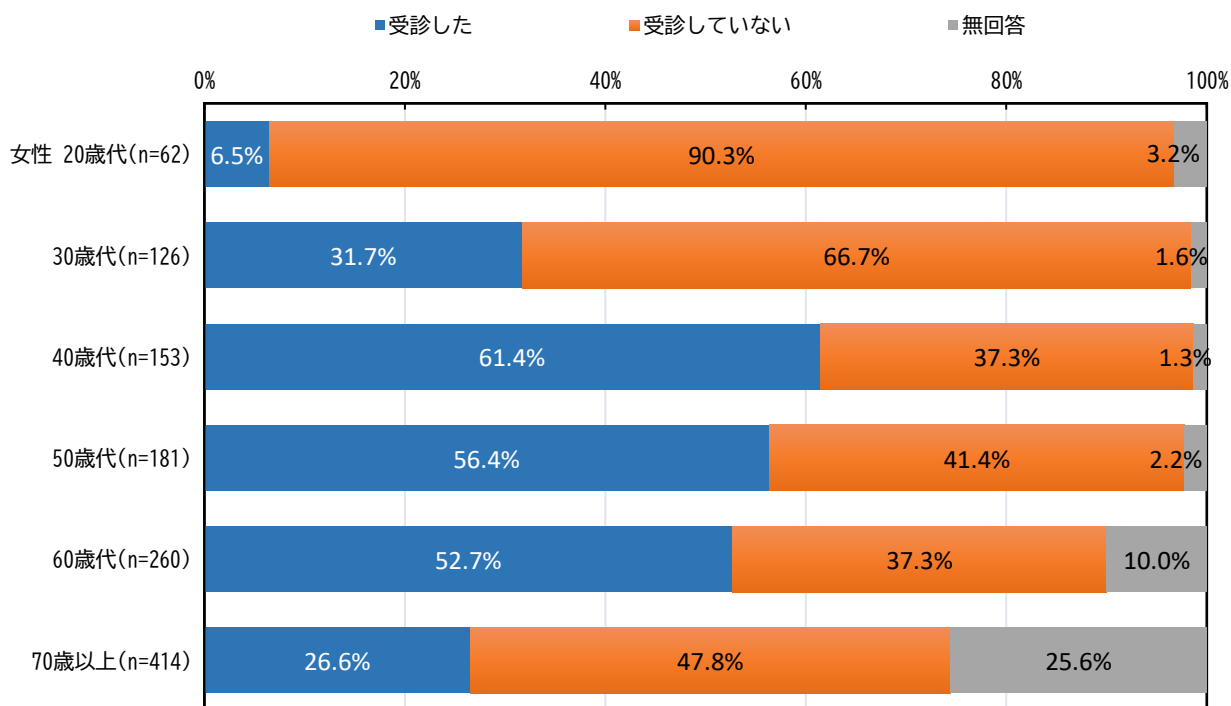
乳がん検診（女性のみ）の受診状況について、「受診した」40.6%、「受診していない」47.5%となっている。

年代別でみると、30歳代では「受診した」と回答した割合が6割以上となっており、それ以上の年代では、年代が上がるにつれて低くなっている。

【(5) 乳がん検診】



(年代別)



【問 25 で 1 つでも「2. 受診していない」に○をつけた方のみ、お答えください】

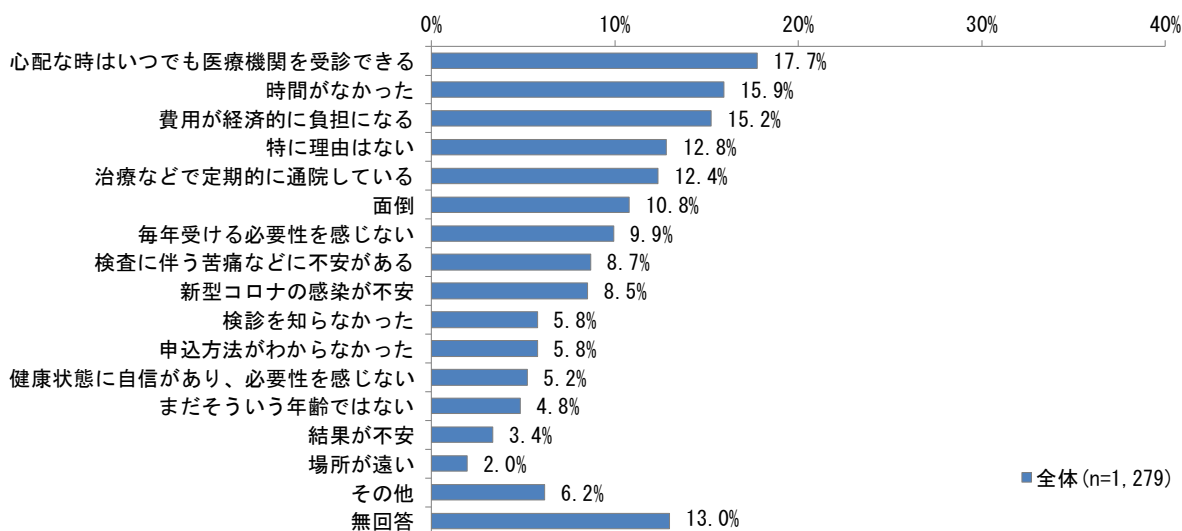
問 25-2 がん検診を受けなかった理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

がん検診を受けなかった理由について、「心配な時はいつでも医療機関を受診できる」17.7%が最も高く、次いで「時間がなかった」15.9%、「費用が経済的に負担になる」15.2%となっている。

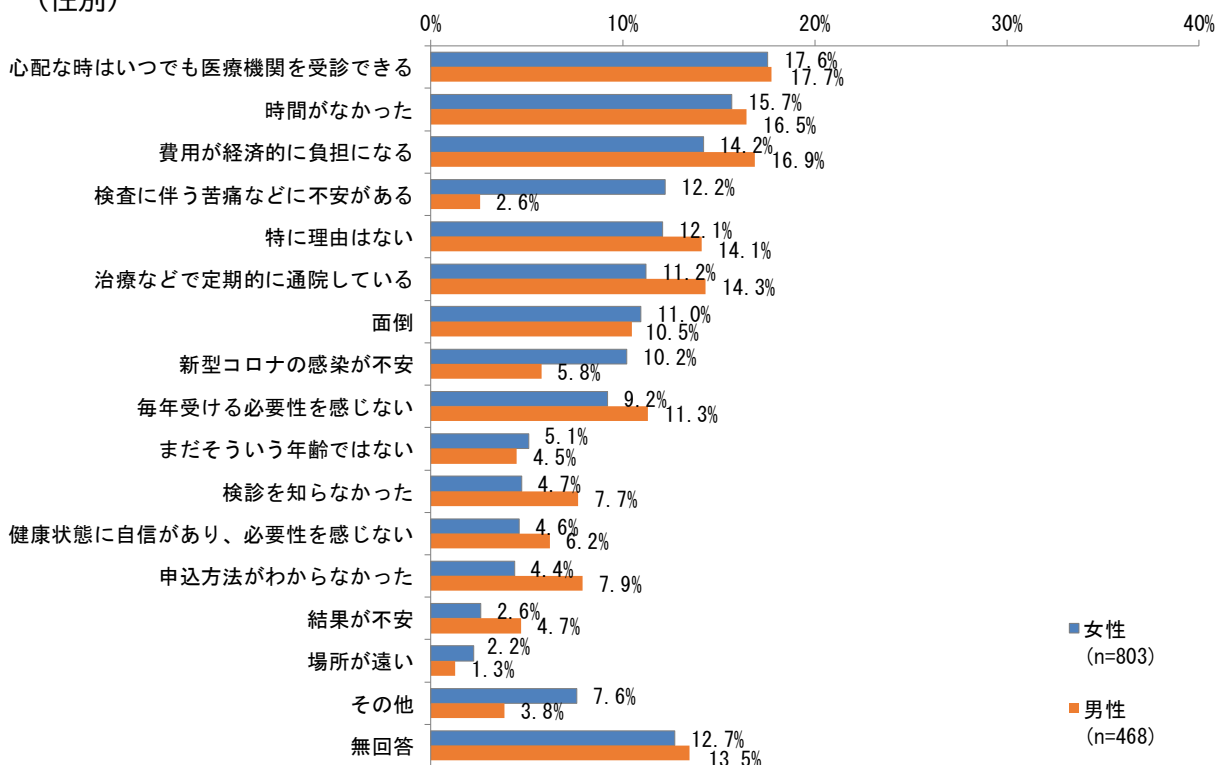
性別で見ると、女性では「検査に伴う苦痛などに不安がある」と回答した割合が男性と比べて9.6ポイント高く、男性では「検診を知らなかった」「申込方法がわからなかった」「治療などで定期的に通院している」と回答した割合が女性と比べて3.0ポイント以上高くなっている。性・年代別で見ると、20歳代の男女ともに「まだそういう年齢ではない」と回答した割合が約3割以上となっている。また、30歳代の男女ともに「費用が経済的に負担になる」と回答した割合が他の性・年代と比べて高くなっている。

【がん検診を受けなかった理由】

(全体)



(性別)



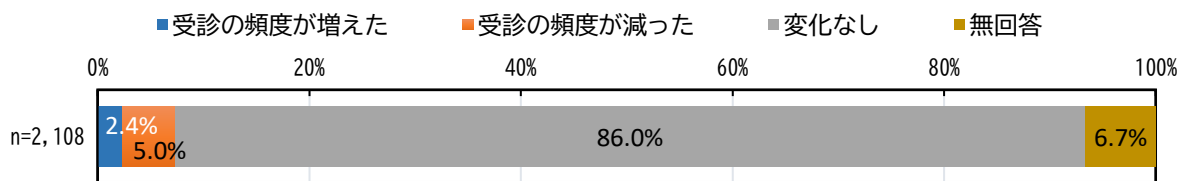
問 32 新型コロナウイルス感染症の流行前と比べて、現在の状況に変化はありますか。
各問について、それぞれ1つ選んで○をつけてください。
＜健康診断・人間ドックの受診について＞

新型コロナウイルス感染症流行後の健康診断・人間ドックの受診状況の変化について、「変化なし」86.0%が最も高く、次いで「受診の頻度が減った」5.0%、「受診の頻度が増えた」2.4%となっている。

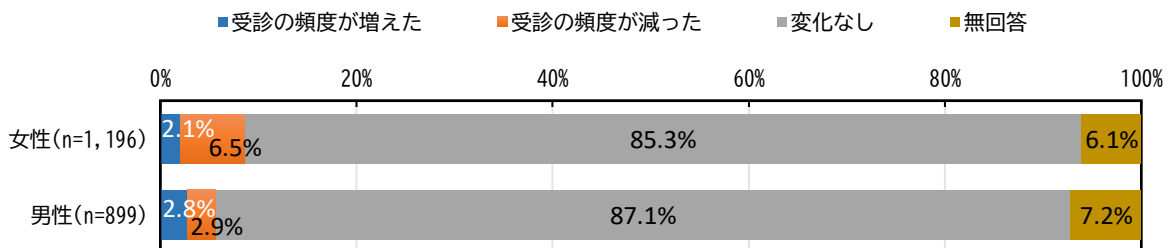
性別で見ると、女性では「受診の頻度が減った」と回答した割合が男性と比べて3.6ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、50歳代女性では「受診の頻度が減った」と回答した割合が、他の性・年代と比べてわずかに高くなっている。

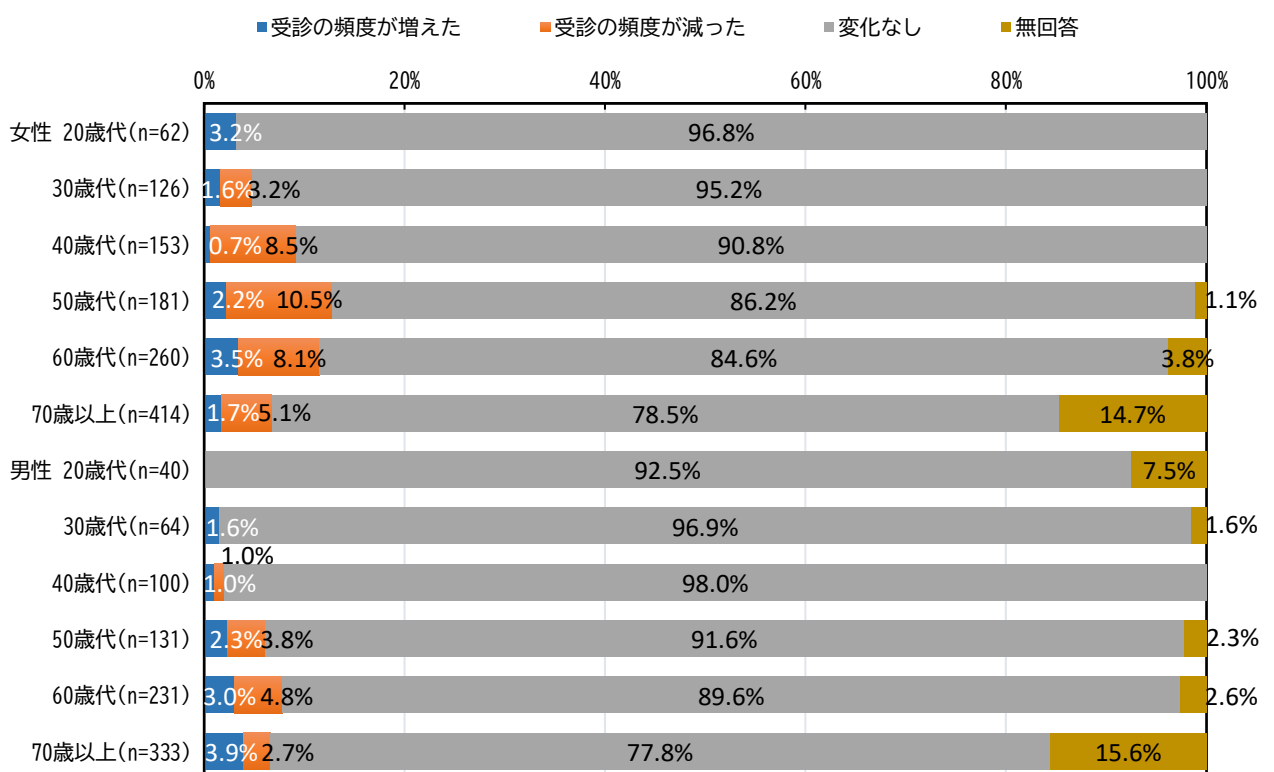
【健康診断・人間ドックの受診状況の変化】



(性別)



(性・年代別)



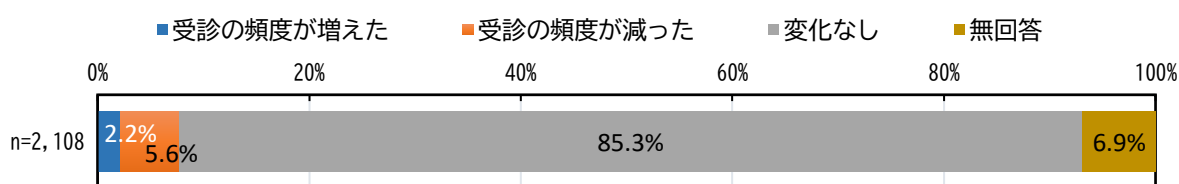
問 33 新型コロナウイルス感染症の流行前と比べて、現在の状況に変化はありますか。
各問について、それぞれ1つ選んで○をつけてください。
〈がん検診の受診について〉

新型コロナウイルス感染症流行後のがん検診受診状況の変化について、「変化なし」85.3%が最も高く、次いで「受診の頻度が減った」5.6%、「受診の頻度が増えた」2.2%となっている。

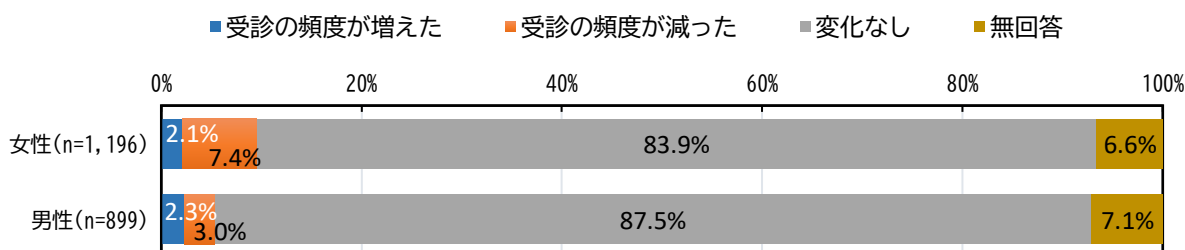
性別でみると、女性では「受診の頻度が減った」と回答した割合が男性と比べて4.4ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、60歳代女性では「受診の頻度が減った」と回答した割合が、他の性・年代と比べてわずかに高くなっている。

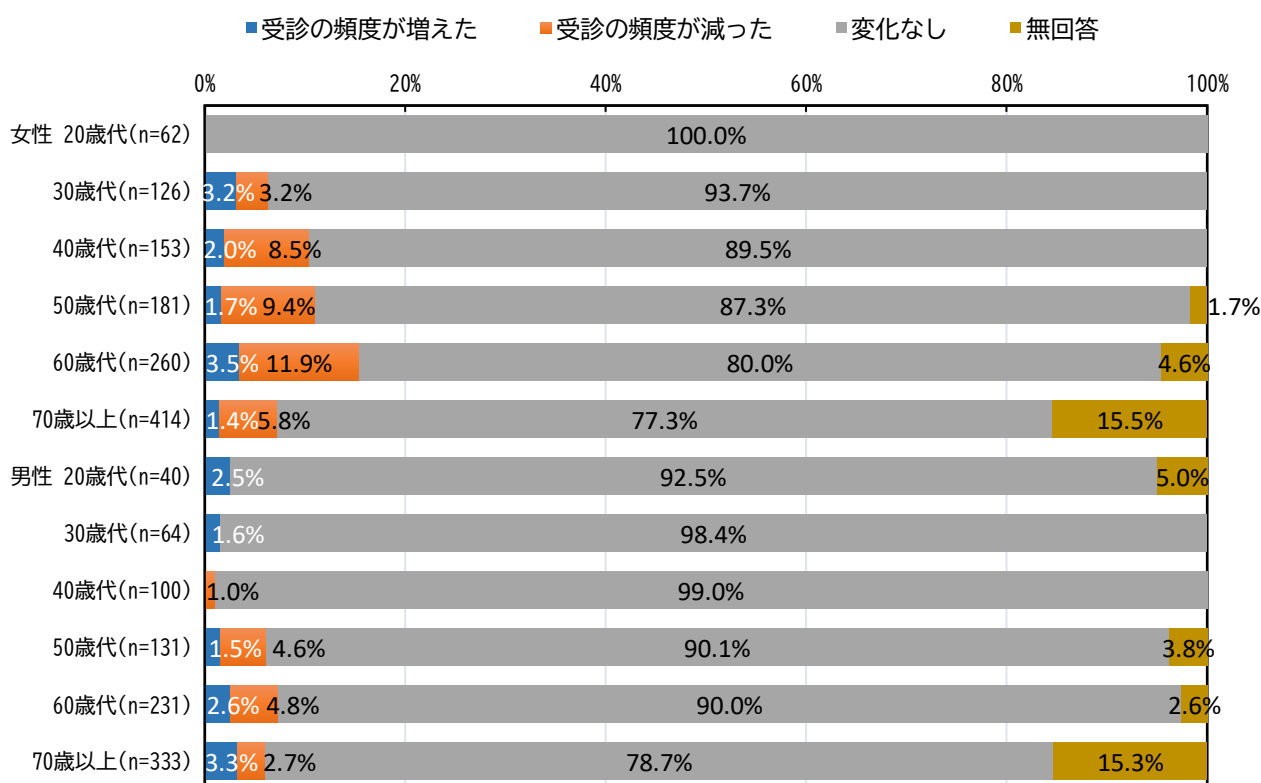
【がん検診受診状況の変化】



(性別)



(性・年代別)



(速報)

令和4年度
事業所における
健康づくりに関する状況調査報告書

令和4年1月

熊本県 健康福祉部 健康づくり推進課

目次

I. 調査概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査時期.....	1
3 調査対象.....	1
4 調査方法.....	1
5 回収結果.....	1
6 集計上の留意点.....	1
II. 調査結果.....	2
貴事業所について.....	2
健康経営について.....	4
健診・がん検診及び両立支援について.....	15
受動喫煙防止対策について.....	30
その他（自由回答）.....	35

I. 調査概要

1 調査の目的

平成 30 年 3 月に改定した「第 4 次くまもと 21 ヘルスプラン（第 4 次熊本県健康増進計画）」や「第 3 次熊本県がん対策推進計画」において、糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防対策に重点を置いた取組み、がん検診の受診率向上や受動喫煙防止対策実施割合の増加等について、目標を立てて施策を推進している。

令和 5 年度が計画の最終年度にあたるため、施策の評価及び今年度策定を予定している次期計画の基礎データとするための現状値を把握するため、標記調査を実施する。

2 調査時期

令和 4 年 11 月に実施

3 調査対象

「経済センサス基礎調査」調査結果名簿から無作為抽出

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収結果

配布件数	回収件数	回収率
2,500件	1,177件	47.0%

6 集計上の留意点

- (1) グラフ中の「n=」は、母数となるサンプル数(回答者数)を示している。
- (2) 集計結果は百分率で算出し、四捨五入の関係上、百分率の合計が 100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の場合は、回答者実数より多くなっている場合がある。
- (4) 回答者が無い場合の設問では一部集計表・グラフを省いている。

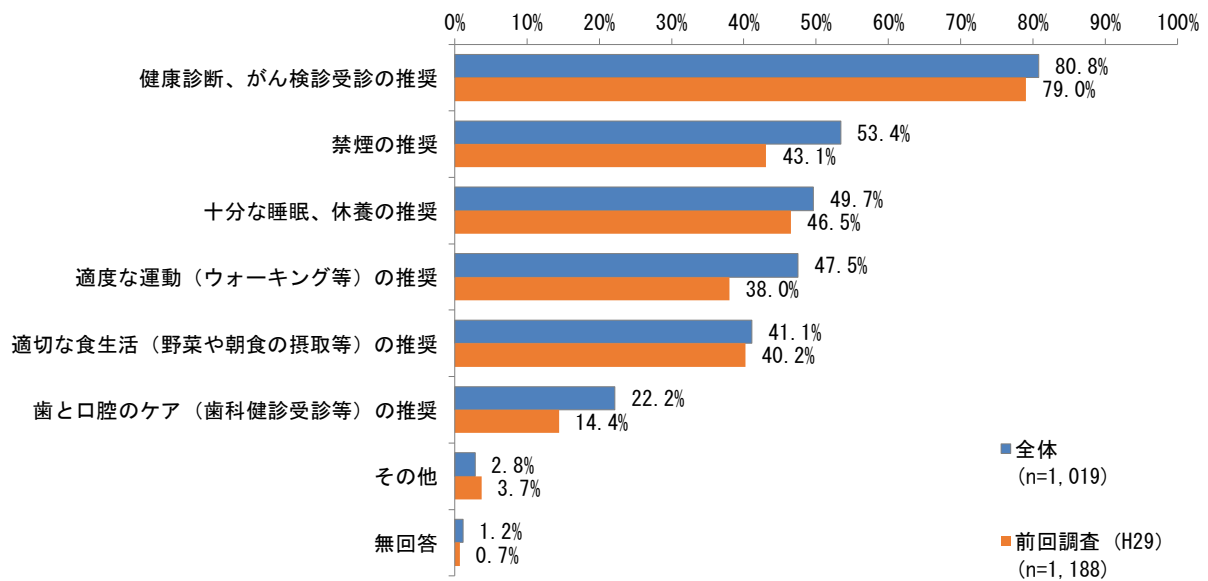
【問3で1、2に○をつけた場合はお答えください】

問3-2 既に取り組んでいる、又は今後取り組みたいもの全てに○をつけてください。

健康経営で既に取り組んでいる、又は今後取り組みたいものについて、「健康診断、がん検診受診の推奨」80.8%が最も高く、次いで「禁煙の推奨」53.4%、「十分な睡眠、休養の推奨」49.7%となっている。

前年調査と比較すると、全ての項目において増加傾向にあり、特に「禁煙の推奨」「適度な運動（ウォーキング等）の推奨」と回答した割合が9.0ポイント以上高くなっている。

業種別、従事者数、所在地別で比較すると、「健康診断、がん検診受診の推奨」と回答した割合が最も高くなっている。



問3-2 その他回答内容
メンタルヘルスケア
ラジオ体操
健康アプリ導入
トリム水を飲む
精神面
ストレスをためない職場の環境づくり
ストレスチェック。病院にも定期的に提出済み
福利厚生で、サリバチェック受診（全職員）
家族の健康状態
各人の健康目標設定揭示
月一リンパマッサージ費を出す 不定期でレクリエーション（登山など）
明るい職場づくり
スポーツジムの法人契約
セミナーを受講予定
保健指導面談の実施
毎朝ラジオ体操を行っている
健康機器の設置
就業開始後に日々ラジオ体操を行う
健康づくりキャンペーン、医療費補助、予防接種費用負担
健診費用の一部補助
過度な飲酒の抑制。身体的、精神的、社会的ストレスの解消。
リフレッシュ方法の模索
健保組合の健康宣言事業に参画
ストレスチェック
朝のラジオ体操
産業医による月一回の健康相談を実施

問5 貴事業所の従業員のがん検診について、該当するもの全てに○をつけてください。

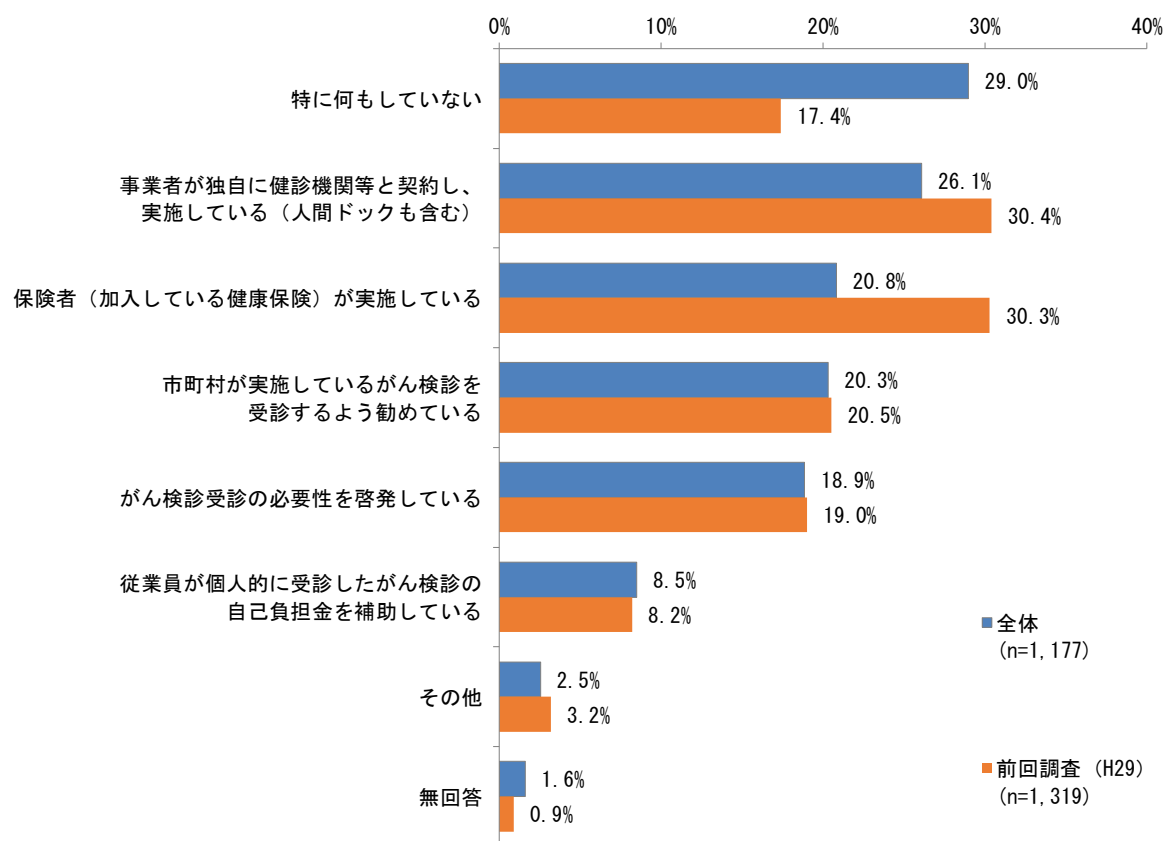
従業員のがん検診について、「特に何もしていない」29.0%が最も高く、次いで「事業者が独自に健診機関等と契約し、実施している（人間ドックも含む）」26.1%、「保険者（加入している健康保険）が実施している」20.8%となっている。

前回調査と比較すると、「特に何もしていない」と回答した割合が11.6ポイント高くなっている。一方、「保険者（加入している健康保険）が実施している」は9.5ポイント、「事業者が独自に健診機関等と契約し、実施している（人間ドックも含む）」は4.3ポイント低くなっている。

業種別にみると、「事業者が独自に健診機関等と契約し、実施している（人間ドックも含む）」と回答した業種のうち、金融業、保険業は約7割を占め、他の業種と比較して高くなっている。

従事者数別にみると、300人以上の事業所では「事業者が独自に健診機関等と契約し、実施している（人間ドックも含む）」が約6割を占めている。

所在地別にみると、山鹿市では「市町村が実施しているがん検診を受診するよう勧めている」と回答した割合が約3割と他の所在地と比較して高くなっている。



【問5で1、2、3に○をつけた場合はお答えください】

問5-2 実施しているがん検診について、該当するもの全てに○をつけてください。

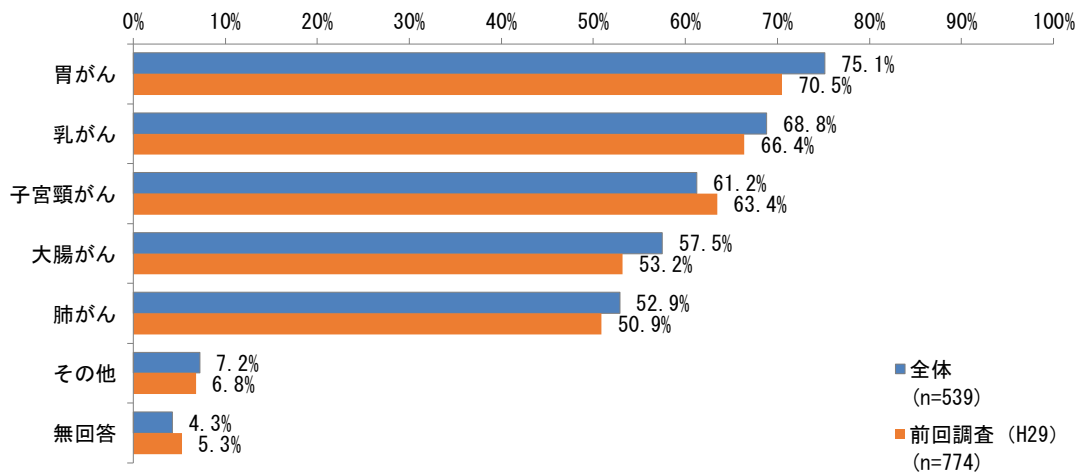
実施しているがん検診について、「胃がん」75.1%が最も高く、次いで「乳がん」68.8%、「子宮頸がん」61.2%となっている。

前回調査と比較すると、「子宮頸がん」を除く全ての項目で高くなっている。

業種別にみると、「胃がん」と回答した割合は全ての業種で6割以上となっている。

従事者数別にみると、いずれも「胃がん」「乳がん」と回答した割合が高くなっているが、「肺がん」と回答した割合は6割以下に留まっている。

所在地別にみると、全ての所在地で「胃がん」「子宮頸がん」「乳がん」と回答した割合は半数以上となっている。



問5-2 その他回答内容
前立腺がん
年齢により人間ドックを推奨している
個人による選択
腫瘍マーカー
カメラ
健康診断でオプションでつけている
随時
本人の希望により
膵臓癌
それぞれに合ったもの
前立腺癌
個別に希望
前立腺
種類を特定していない
腫瘍マーカーの検査
主要マーカー等でできる部位
すべて把握できておりません
健康診断時の個人選択のオプションとして
前立腺、膵臓、胆、肝臓

問6 貴事業所には、がんりに患している（した）従業員の方はいらっしゃいますか。該当するもの1つに○をつけてください。

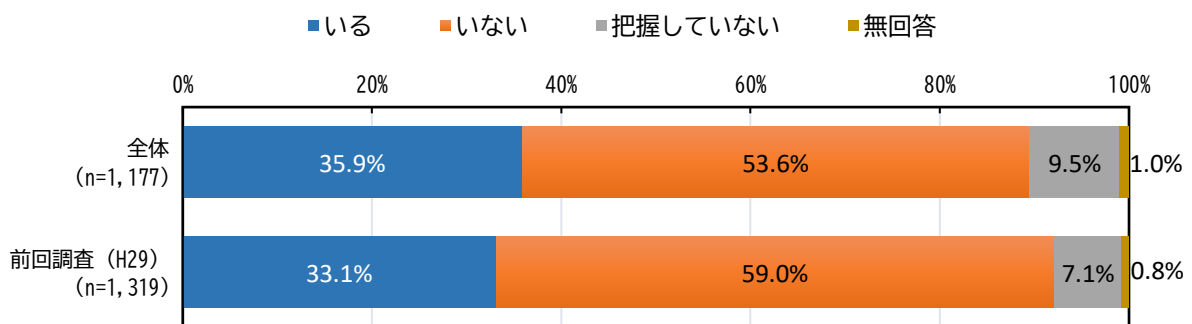
がんりに患している（した）従業員がいるかについて、「いない」53.6%が最も高く、次いで「いる」35.9%、「把握していない」9.5%となっている。

前回調査と比較すると、「いない」と回答した割合が5.4ポイント低く、「いる」と回答した割合が2.8ポイント高くなっている。

業種別にみると、運輸業・郵便業、金融業・保険業では「いる」と回答した割合は約半数となり、他の業種と比較して高くなっている。

従事者数別にみると、49人以下の事業所では「いない」、50人以上の事業所では「いる」がそれぞれ最も高くなっている。

所在地別にみると、人吉市、球磨郡では「いる」と回答した割合が約半数となり、他の所在地と比較して高くなっている。



問7 貴事業所には、がんりにり患している（した）従業員の方への支援となる制度（治療と就労を両立しやすくする制度）はありますか。該当するもの全てに○をつけてください。

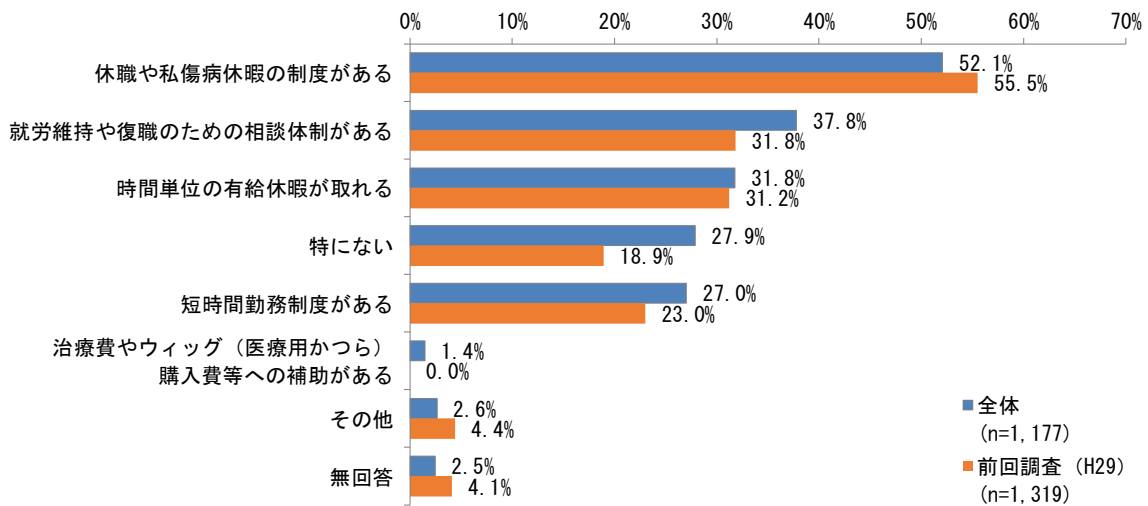
がんりにり患している（した）従業員の方への支援となる制度があるかについて、「休職や私傷病休暇の制度がある」52.1%が最も高く、次いで「就労維持や復職のための相談体制がある」37.8%、「時間単位の有給休暇が取れる」31.8%となっている。

前回調査と比較すると、「就労維持や復職のための相談体制がある」は6.0ポイント、「短時間勤務制度がある」は4.0ポイント高くなっている。

業種別にみると、いずれも「休職や私傷病休暇の制度がある」と回答した割合が最も高くなっているが、不動産業、物品賃貸業では「特にない」と回答した割合が半数以上となっている。

従事者数別にみると、いずれも「休職や私傷病休暇の制度がある」が最も高く、従事者数が増えるにつれて、その割合も高くなる傾向がみられる。

所在地別にみると、山鹿市では「特にない」が半数を占め、他の所在地と比べ高くなっている。



問7 その他回答内容
個別に対応している
半日単位の有給休暇が取れる
相談に応じる
制度はないが、定期的に治療を要す場合、時間休を与えることがある
治療にかかる時間を給与から減らさないようにしている
がんに罹患した人がいないので制度はない
給料は考えて支払っている
治療費補助、メディポリス提携、民間のセカンドオピニオンとの連携
病気になっても離職せずすむよう、本人の体調をみながら時間、休みなどを調整
制度はないが治療と仕事と両立できるよう相談に応じている
まだ実際に取り組んだことがない
半日有給がある
福利厚生で保険（三大疾病）に加入している
入院手術費用として会社で保険に入っている
保険に加入
ケースバイケースで対応しています
その都度内容により対応している
少人数なので個人別に臨機応変に対応できる
時間単位ではないが、半日有休等をとることができる
両立支援プログラムを実施し、主治医と連携し、就業に関して産業界の意見をきいている。両立支援コーディネーターを養成した
テレワーク対応
GLTD（団体長期障害所得補償保険）加入
市で対応
共済事業団による高額療養費の負担軽減制度がある
保険に加入している

(速報)

令和4年度
飲食店・宿泊業における
健康づくりに関する状況調査報告書

令和4年1月

熊本県 健康福祉部 健康づくり推進課

目次

I. 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査時期	1
3 調査対象	1
4 調査方法	1
5 回収結果	1
6 集計上の留意点	1
II. 調査結果	2
貴事業所について	2
健康経営について	5
健診・がん検診について.....	15
受動喫煙防止対策について.....	26
くま食健康マイスター店について.....	32
その他（自由回答）	36

I. 調査概要

1 調査の目的

平成 30 年 3 月に改定した「第 4 次くまもと 21 ヘルスプラン（第 4 次熊本県健康増進計画）」や「第 3 次熊本県がん対策推進計画」において、糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防対策に重点を置いた取組み、がん検診の受診率向上や受動喫煙防止対策実施割合の増加等について、目標を立てて施策を推進している。

令和 5 年度が計画の最終年度にあたるため、施策の評価及び今年度策定を予定している次期計画の基礎データとするための現状値を把握するため、標記調査を実施する。

2 調査時期

令和 4 年 11 月に実施

3 調査対象

「経済センサス基礎調査」調査結果名簿から無作為抽出

4 調査方法

郵送による配布・回収及びインターネット上の回収

5 回収結果

配布件数	回収件数	回収率
1,820件	381件	20.9%

6 集計上の留意点

- (1) グラフ中の「n=」は、母数となるサンプル数(回答者数)を示している。
- (2) 集計結果は百分率で算出し、四捨五入の関係上、百分率の合計が 100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の場合は、回答者実数より多くなっている場合がある。
- (4) 回答者が無い場合の設問では一部集計表・グラフを省いている。

【問3で1、2に○をつけた場合はお答えください】

問3-2 既に取り組んでいる、又は今後取り組みたいもの全てに○をつけてください。

健康経営で既に取り組んでいる、又は今後取り組みたいものについて、全体では「健康診断、がん検診受診の推奨」70.1%が最も高く、次いで「十分な睡眠、休養の推奨」49.4%、「禁煙の推奨」44.8%となっている。

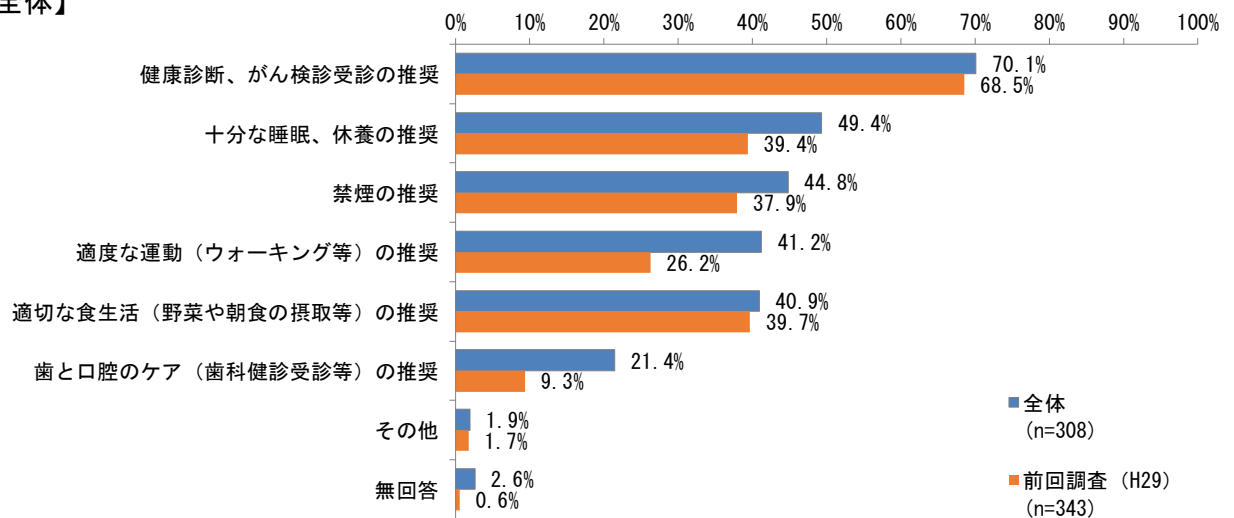
前回調査と比較すると、「適度な運動（ウォーキング等）の推奨」「歯と口腔のケア（歯科検診受診等）の推奨」「十分な睡眠、休養の推奨」と回答した割合は10.0ポイント以上高くなっている。

業種別にみると、「健康診断、がん検診受診の推奨」と回答したのは、宿泊業で67.7%、飲食サービス業で71.0%とそれぞれ最も高くなっている。宿泊業では「禁煙の推奨」、飲食サービス業では「適切な食生活（野菜や朝食の摂取等）の推奨」と回答した割合が前回調査と比べてわずかに低くなっている。

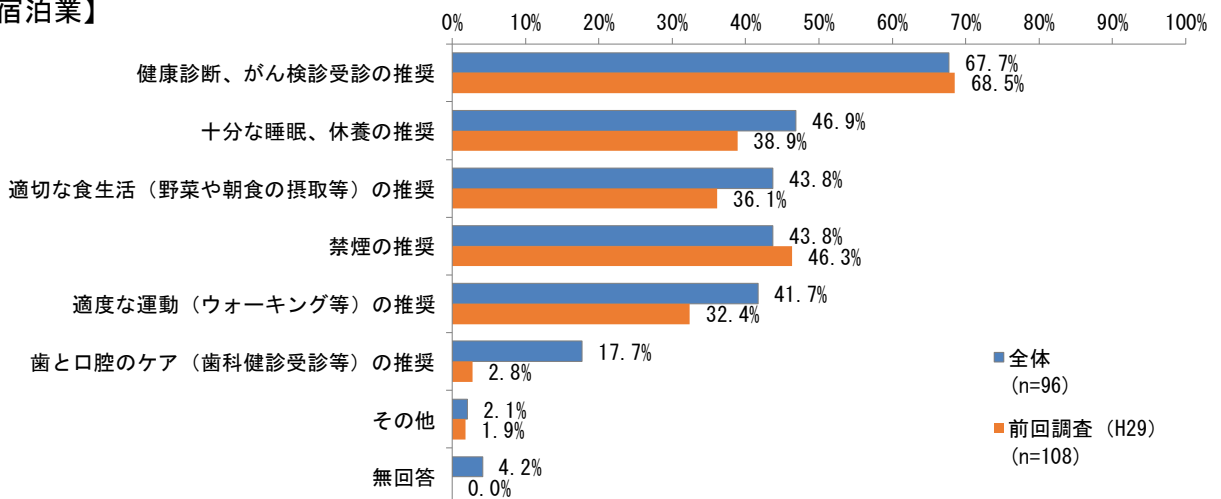
従事者数別にみると200～299人では「禁煙の推奨」、その他の従事者数では「健康診断、がん検診受診の推奨」と回答した割合が最も高くなっている。

所在地別にみると、いずれも「健康診断、がん検診受診の推奨」と回答した割合が最も高くなっている。

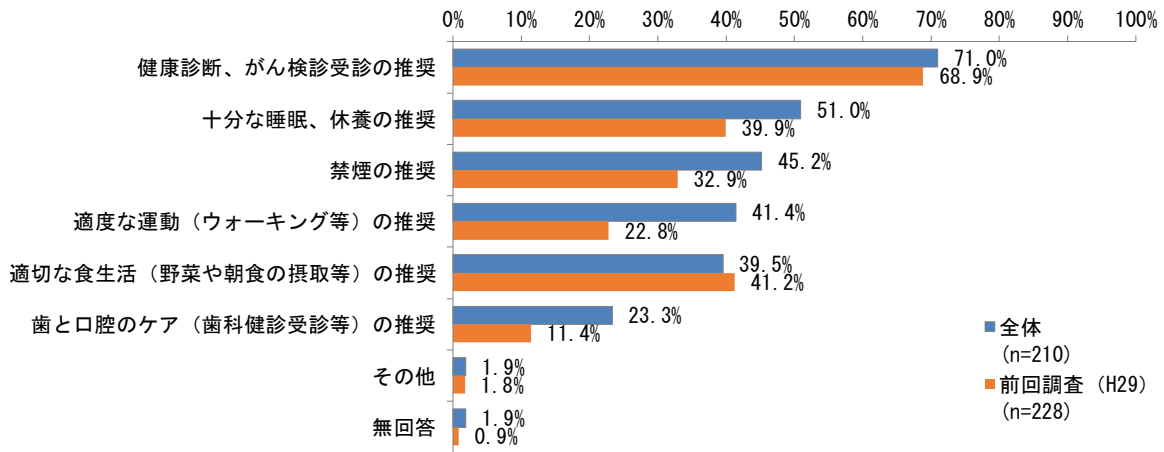
【全体】



【宿泊業】



【飲食サービス業】



複数回答のため合計は100%にならない 上段：回答者数 下段：構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	キ	適	推	禁	受	奨	推	そ	無
		ン	当	奨	煙	診	科	奨	他	回
		グ	な	や	の	健	歯	十		答
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン	な	や	の	診	科	十		
		グ	な	や	の	診	科	十		
		ン</								

健診・がん検診について

問4 貴事業所では、従業員の定期健康診断を実施していますか。該当するもの1つに○をつけてください。

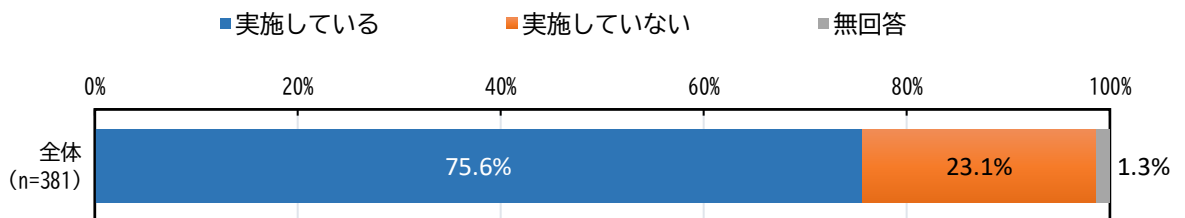
従業員の定期健康診断を実施しているかについて、全体では「実施している」75.6%、「実施していない」23.1%となっている。

業種別にみると、「実施している」と回答した割合が宿泊業83.9%、飲食サービス業71.9%となっている。一方、飲食サービス業では「実施していない」と回答した割合が2割以上となっている。

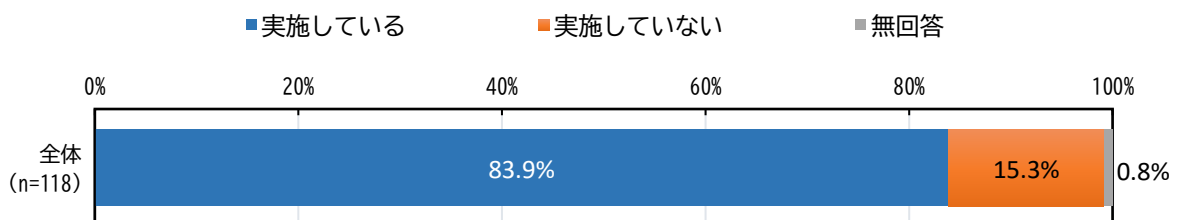
従事者数別にみると、従事者数が多くなるにつれて「実施している」と回答した割合が高くなっているが、10～19人では「実施していない」と回答した割合が約3割となっている。

所在地別にみると、山鹿市では「実施していない」と回答した割合が半数となっている。

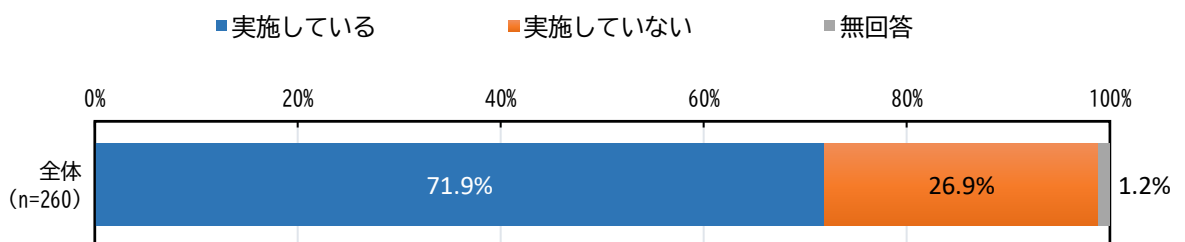
【全体】



【宿泊業】



【飲食サービス業】



問5 貴事業所の従業員のがん検診について、該当するもの全てに○をつけてください。

従業員のがん検診について、全体では「特に何もしていない」32.5%が最も高く、次いで「市町村が実施しているがん検診を受診するよう勧めている」24.9%、「保険者（加入している健康保険）が実施している」20.5%となっている。

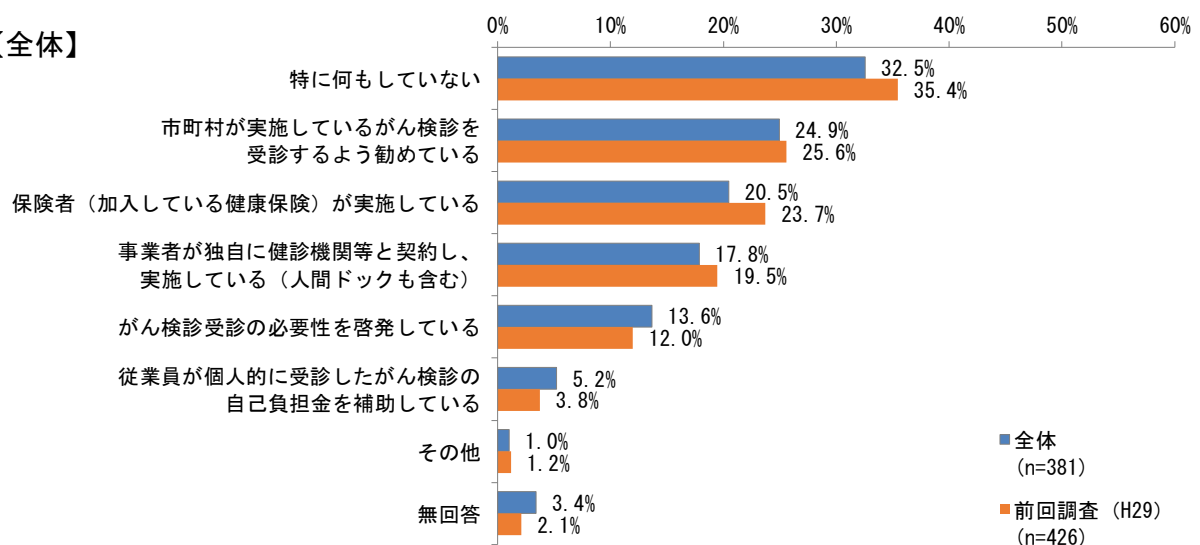
前回調査と比較すると「特に何もしていない」と回答した割合は2.9ポイント低くなっている。一方、「がん検診受診の必要性を啓発している」「従業員が個人的に受診したがん検診の自己負担金を補助している」と回答した割合はわずかに高くなっている。

業種別にみると、宿泊業では「市町村が実施しているがん検診を受診するよう勧めている」が飲食サービス業より6.6ポイント高く、飲食サービス業では「がん検診受診の必要性を啓発している」が宿泊業より5.2ポイント高くなっている。

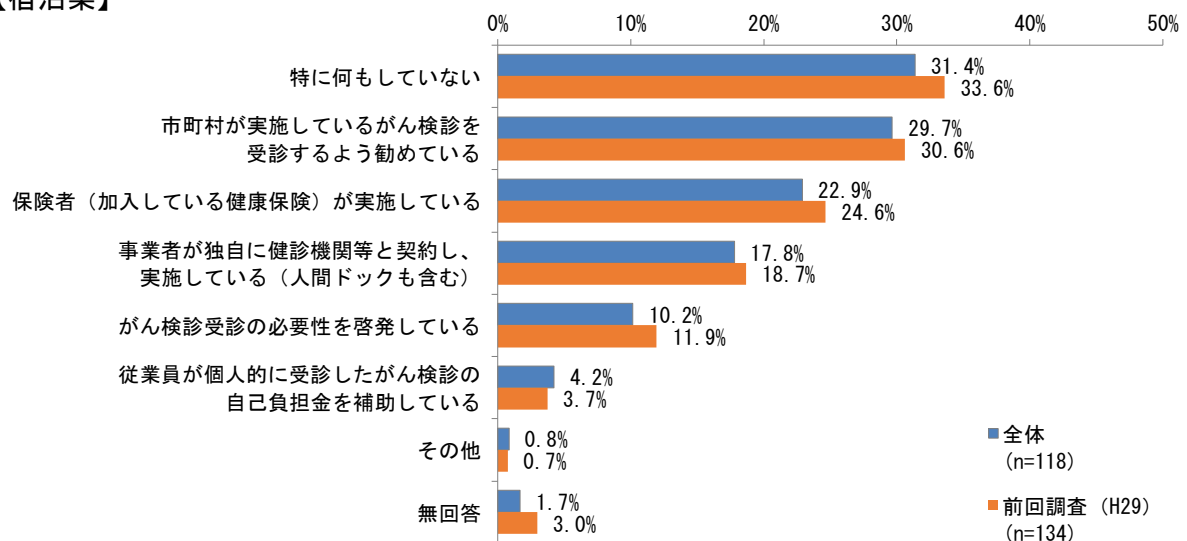
従事者数別にみると、50人以上では「保険者（加入している健康保険）が実施している」、49人以下では「市町村が実施しているがん検診を受診するよう勧めている」と回答した割合がそれぞれ2割以上となっている。

所在地別にみると、山鹿市では「事業者が独自に健診機関等と契約し、実施している（人間ドックも含む）」と回答した割合が半数を占めている。

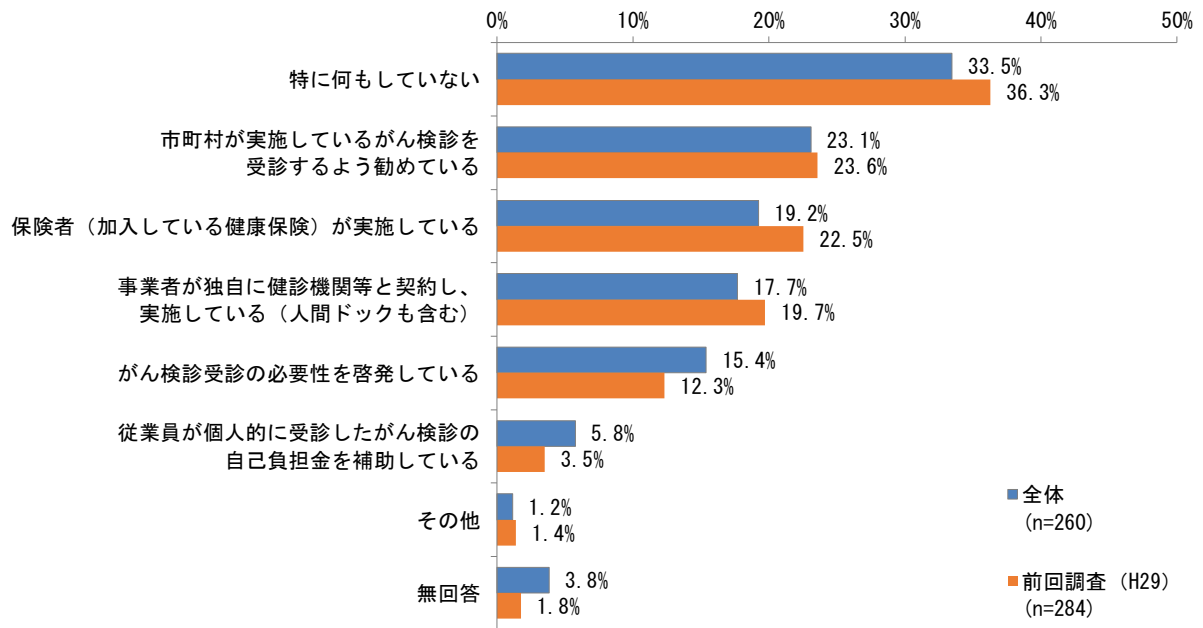
【全体】



【宿泊業】



【飲食サービス業】



問5 その他回答内容	
希望者の日程調整をして受診予約をしている	宿泊業
がん検診については今まで特にスタッフに話をしたことがなかったため、健康診断をお願いしている病院に来年相談してみようと思う	飲食サービス業
センター職員（調理業者、配送業者、栄養教諭、市職員）各々の所属する場で取り組んでいるため	飲食サービス業
定期的な健康診断に含まれる	飲食サービス業

【問5で1、2、3に○をつけた場合はお答えください】

問5-2 実施しているがん検診について、該当するもの全てに○をつけてください。

実施しているがん検診について、全体では「胃がん」68.0%が最も高く、次いで「乳がん」66.7%、「大腸がん」57.1%となっている。

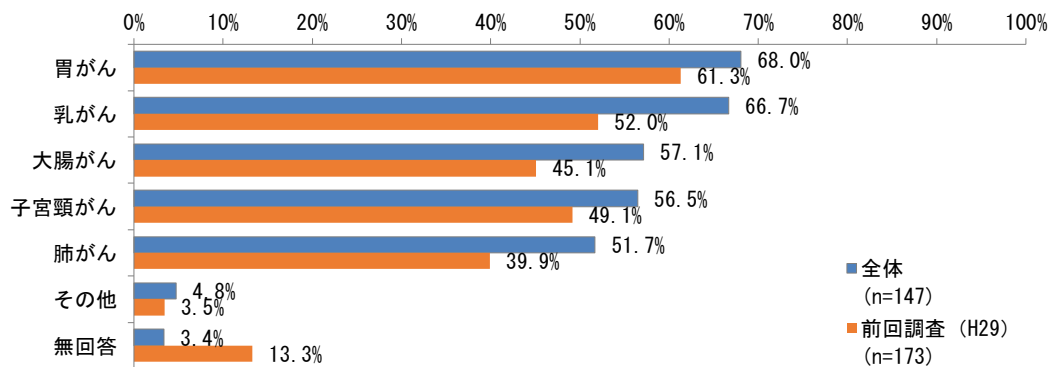
前回調査と比較すると、全ての項目で増加傾向にあり、特に「乳がん」は14.7ポイント増加している。

業種別にみると、宿泊業では「乳がん」78.0%、飲食サービス業では「胃がん」73.7%と回答した割合が最も高くなっている。

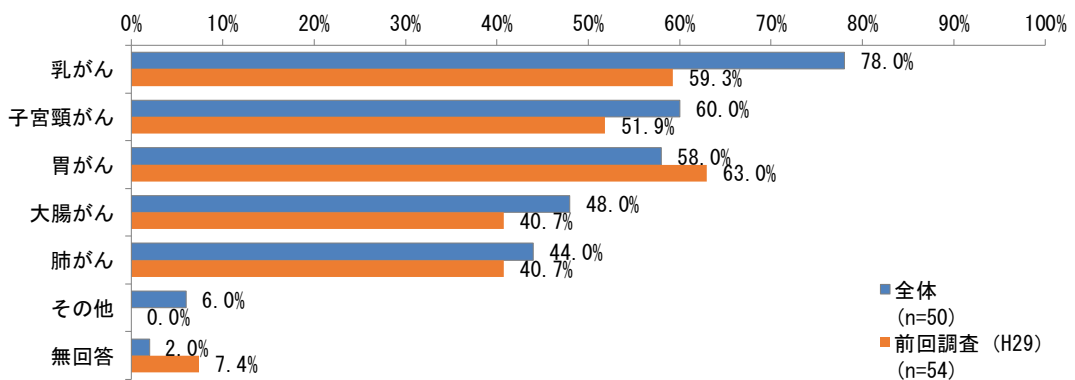
従事者数別にみると、10～99人では「胃がん」が約7割、100人以上では「子宮頸がん」が7割以上となっている。

所在地別にみると、すべての所在地で「胃がん」「乳がん」と回答した割合が半数以上となっている。

【全体】



【宿泊業】



【飲食サービス業】

